

ガラス溶融炉B系列におけるガラス固化試験後の炉内観察の状況について

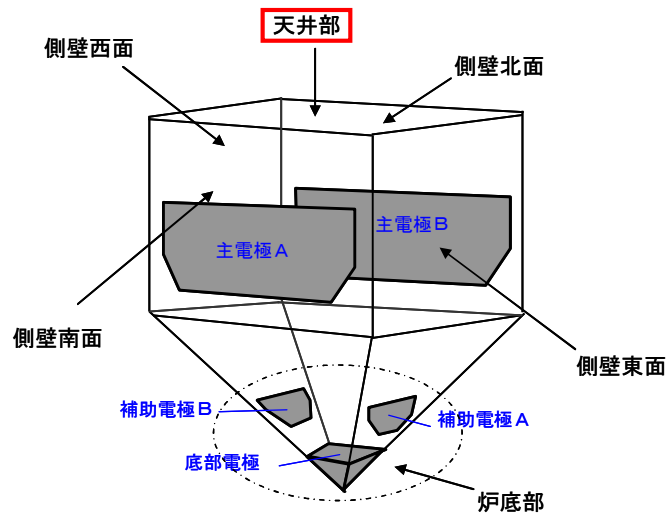
1. はじめに

- ガラス溶融炉B系列におけるガラス固化試験後の炉内観察を2013年1月28日に実施。
- 炉内観察では、炉内レンガの健全性を確認するとともに、はつり作業前の炉底部の状況を確認。

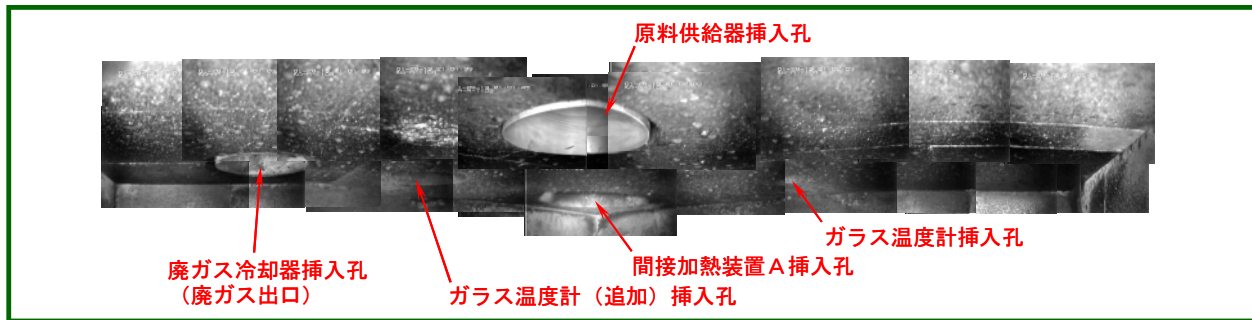
2. 炉内観察結果

(1) 天井レンガ

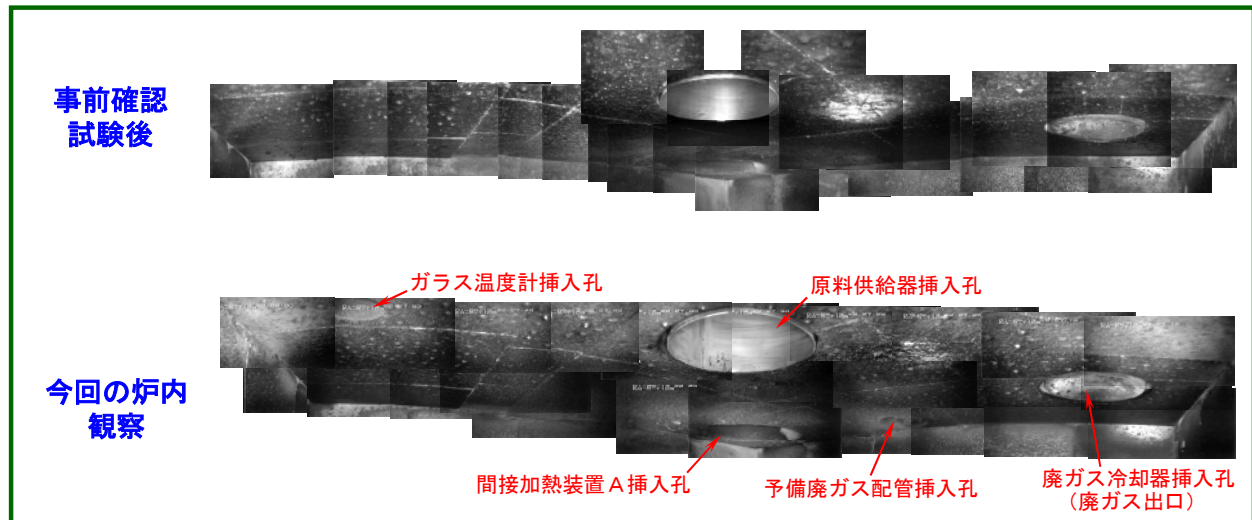
レンガの欠けなどは確認されず、健全であることを確認した。



天井
北西側

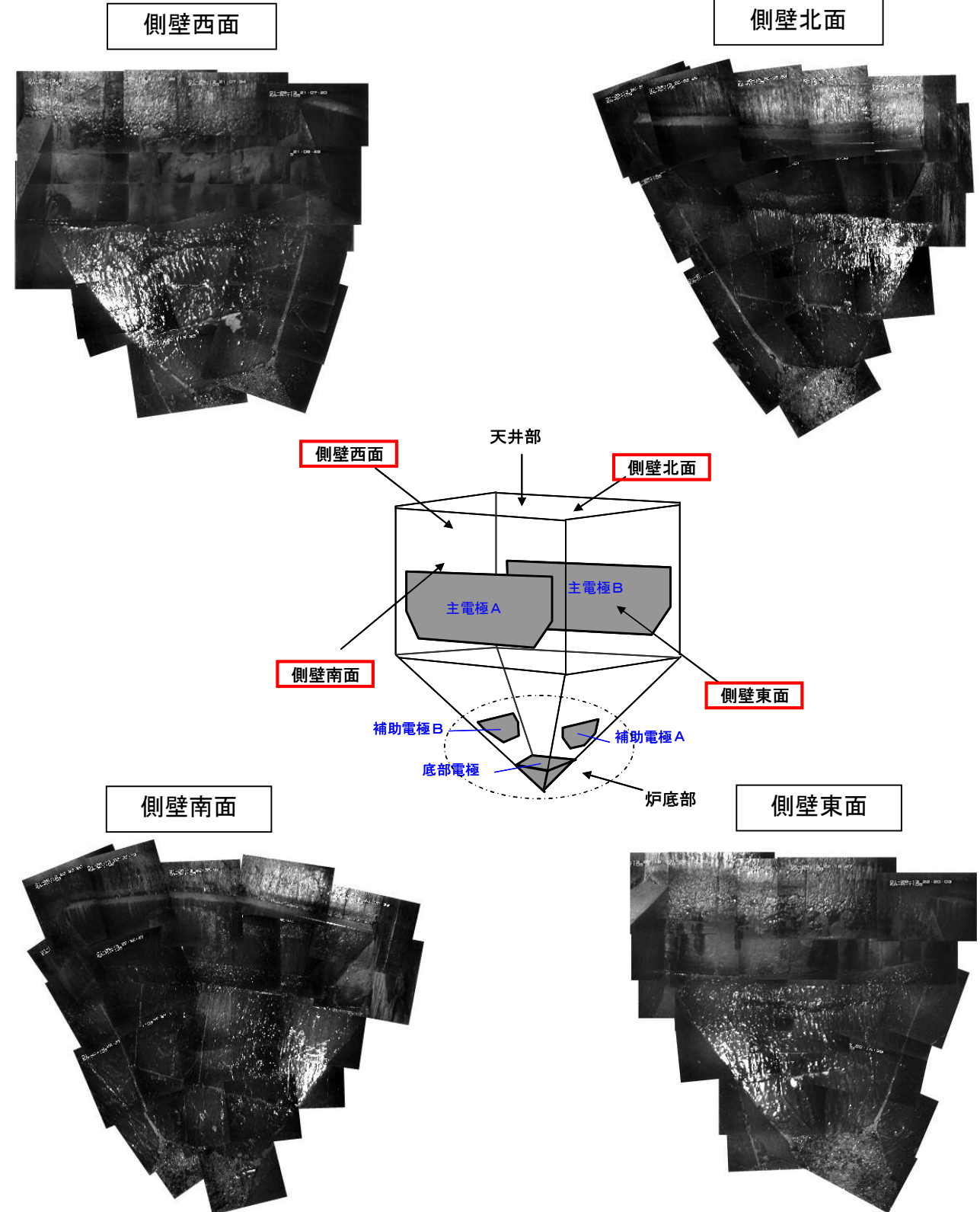


天井
南東側



(2) 側壁レンガ

大きな欠けや割れは確認されず、健全であることを確認した。



<前回の炉内観察時（事前確認試験後：2012年8月）との比較>

① 事前確認試験後

今回の炉内観察

② 事前確認試験後

今回の炉内観察

③ 事前確認試験後

今回の炉内観察

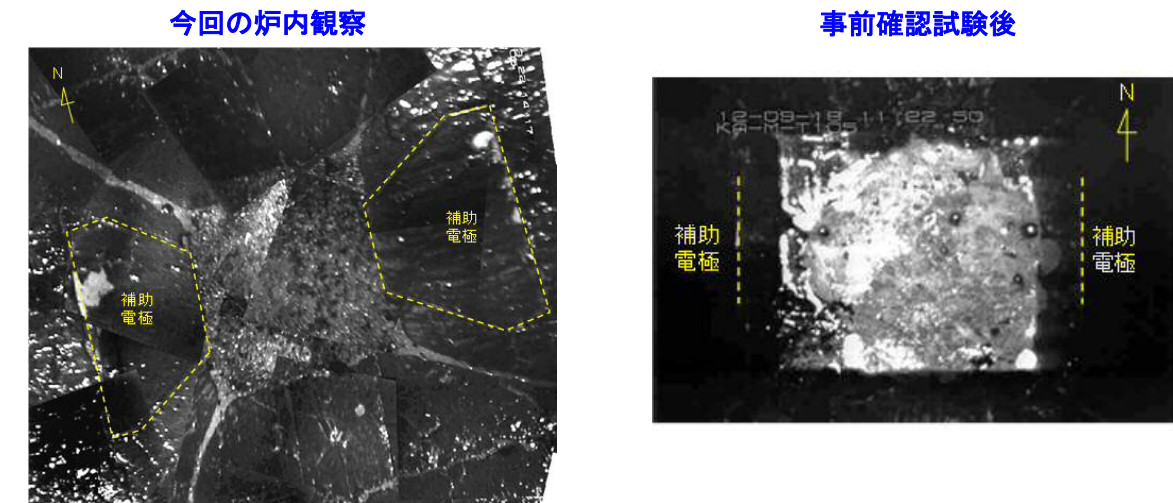
④ 事前確認試験後

今回の炉内観察

(3) 炉底部

炉底部の残留物の量は、事前確認試験後に比べ若干多いものの、通常の運転管理範囲内であることを確認した。

なお、現在、今後の運転に備え、炉底部のはつり作業を実施中。



3. まとめ

- 炉内観察により、天井レンガ、側壁レンガに今後の運転に影響を及ぼすような損傷はなく、熔融炉の健全性に問題はないことを確認した。
- 引き続き、ガラス熔融炉B系列のガラス固化試験結果の評価を行い、A系列の試験計画に反映する。

以上